

《QE予測シリーズ No.2016-7》

2016年10～12月期GDP統計予測

(1) 2016年10～12月期の実質GDPは、前期比年率+1.6%（前期比+0.4%）と、4四半期連続のプラス成長となった見込み（図表1）。個人消費は弱い動きとなったものの、輸出や設備投資の増加を背景に、成長ペースは前期から小幅加速。

①個人消費（前期比年率▲0.6%、前期比▲0.2%）

雇用所得環境の改善が続いたものの、生鮮食品の価格高騰を受けた家計の防衛意識の強まりなどが消費下押しに作用したことで、4四半期ぶりに減少。

②設備投資（前期比年率+5.3%、前期比+1.3%）

2四半期ぶりに増加。海外経済の先行き不透明感の緩和や、国内の生産活動の持ち直しを背景に、企業の投資意欲が改善。都心部での再開発といった建設投資や、ソフトウェアを中心とした情報化関連投資も、設備投資の押し上げに寄与。

③公共投資（前期比年率▲7.4%、前期比▲1.9%）

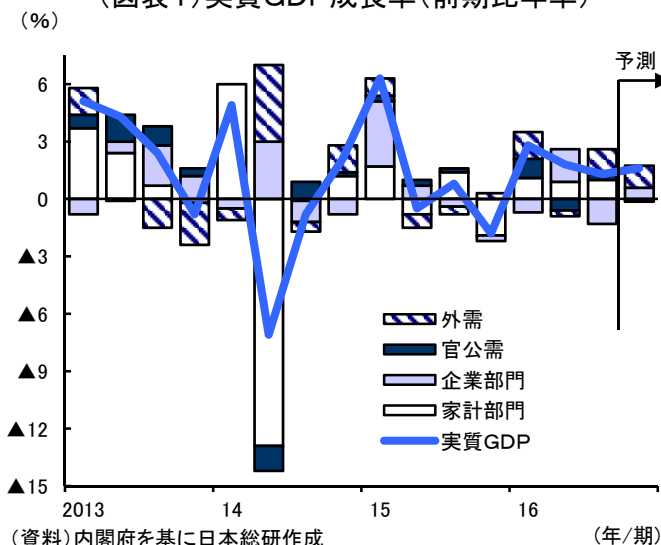
2016年度本予算の前倒し執行や熊本地震関連の補正予算の執行が一巡したことで、3四半期ぶりに減少。

④外需（前期比年率寄与度+1.2%ポイント、前期比寄与度+0.3%ポイント）

輸出は前期比年率+6.8%と、2四半期連続の増加。世界的なIT需要の回復を受け、電子部品・デバイスの輸出が増加したほか、現地景気の持ち直しを背景に、アジア向けの資本財輸出も増加。一方、輸入は同▲0.6%の減少。この結果、外需のGDP寄与は、2四半期連続で大幅なプラスに。

(2) 2017年1～3月期を展望すると、①在庫調整の進展を受けた製造業の生産活動の持ち直しや（図表2）、②株価の上昇などを背景とした消費者マインドの改善が、景気下支えに作用。昨年11月に成立した2016年度第2次補正予算の執行に伴い、公共投資も増加に転じるとみられることから、景気回復基調が持続する見込み。もともと、トランプ米新大統領が打ち出す政策や、英国のEU離脱、欧州大陸諸国の選挙など、海外の政治動向は不透明感が強く、マーケットの変動などが景気を下押しするリスクには注意が必要。

（図表1）実質GDP成長率（前期比年率）



（資料）内閣府を基に日本総研作成

（注1）家計部門＝民間最終消費支出＋民間住宅。

（注2）企業部門＝民間企業設備＋民間在庫変動。

（注3）官公需＝政府最終消費支出＋公的固定資本形成＋公的在庫変動。

（注4）外需＝輸出－輸入。

（図表2）鉱工業生産と在庫指数（季調値）



（資料）経済産業省を基に日本総研作成

（注）生産の白抜きは予測指数による先延ばし。

【ご照会先】 調査部 副主任研究員 村瀬拓人 (murase.takuto@jri.co.jp, 03-6833-6096)

《QE予測シリーズ》は、直近四半期の日本経済、および法人企業統計の概況を解説するとともに、四半期別GDP速報の予測値と当面の景気見通しを示すものです。1次速報値と2次速報値について、年合計8回発表します。

GDP統計予測表(2017年1月31日時点の公表系列をもとに作成)

(株)日本総合研究所 調査部

■ 前期比 (%, 十億円)

	実質GDP														名目GDP	デフレーター
	内需								官公需				外需			
	個人消費	住宅投資	設備投資	民間在庫	政府消費	公共投資	公的在庫	輸出	輸入							
2015/ 7 ~ 9										0.2	0.3	0.3	0.5	1.8	0.6	▲ 983.5
10 ~ 12	▲ 0.4	▲ 0.5	▲ 0.7	▲ 0.7	▲ 1.2	0.4	▲ 609.3	0.0	0.7	▲ 2.8	21.3	305.5	▲ 0.6	▲ 0.9	▲ 0.3	0.2
2016/ 1 ~ 3	0.7	0.3	0.1	0.4	1.3	▲ 0.3	▲ 674.7	1.0	1.3	▲ 0.7	85.0	1711.2	0.8	▲ 1.2	0.8	0.1
4 ~ 6	0.5	0.5	0.9	0.2	3.5	1.4	1210.7	▲ 0.6	▲ 1.1	1.6	▲ 51.3	▲ 320.8	▲ 1.3	▲ 0.9	0.2	▲ 0.2
7 ~ 9	0.3	▲ 0.0	▲ 0.1	0.3	2.6	▲ 0.4	▲ 1470.9	0.3	0.3	0.1	▲ 14.0	1608.6	1.6	▲ 0.4	0.1	▲ 0.2
10 ~ 12	0.4	0.1	0.1	▲ 0.2	1.7	1.3	▲ 275.3	▲ 0.0	0.5	▲ 1.9	▲ 32.4	1517.8	1.7	▲ 0.1	0.5	0.1

■ 前期比年率 (%, 十億円)

2015/ 7 ~ 9	0.8	1.2	1.3	2.1	7.3	2.4	—	1.0	1.8	▲ 2.1	—	—	8.9	10.3	2.3	1.4
10 ~ 12	▲ 1.8	▲ 2.0	▲ 2.7	▲ 2.9	▲ 4.9	1.6	—	0.2	2.9	▲ 10.8	—	—	▲ 2.5	▲ 3.6	▲ 1.0	0.7
2016/ 1 ~ 3	2.8	1.4	0.5	1.6	5.2	▲ 1.2	—	4.0	5.4	▲ 2.8	—	—	3.2	▲ 4.7	3.1	0.3
4 ~ 6	1.8	2.1	3.6	0.9	14.8	5.6	—	▲ 2.4	▲ 4.2	6.7	—	—	▲ 5.2	▲ 3.5	1.0	▲ 0.8
7 ~ 9	1.3	▲ 0.0	▲ 0.4	1.3	10.9	▲ 1.4	—	1.0	1.2	0.3	—	—	6.5	▲ 1.4	0.5	▲ 0.9
10 ~ 12	1.6	0.4	0.6	▲ 0.6	6.8	5.3	—	▲ 0.1	1.9	▲ 7.4	—	—	6.8	▲ 0.6	2.2	0.6

■ 前年同期比 (%, 十億円)

2015/ 7 ~ 9	2.1	1.8	2.0	1.2	6.1	1.0	600.9	1.1	1.6	▲ 0.2	▲ 46.2	354.4	3.1	1.2	3.9	1.8
10 ~ 12	1.1	1.1	1.2	▲ 0.1	4.7	1.0	891.2	0.6	2.2	▲ 4.6	▲ 8.8	46.4	▲ 0.4	▲ 0.6	2.6	1.5
2016/ 1 ~ 3	0.4	0.1	▲ 0.3	▲ 0.1	3.0	▲ 0.6	▲ 209.0	1.4	2.7	▲ 3.4	23.1	169.7	▲ 1.3	▲ 2.0	1.3	0.9
4 ~ 6	0.9	0.7	0.7	0.4	5.4	2.2	▲ 159.2	0.9	1.4	▲ 2.2	11.9	256.2	0.5	▲ 0.7	1.3	0.4
7 ~ 9	1.1	0.3	0.2	0.3	6.5	0.9	▲ 442.8	0.7	1.2	▲ 1.8	9.3	839.5	0.4	▲ 3.3	0.9	▲ 0.2
10 ~ 12	1.9	0.9	1.1	0.8	9.3	2.0	▲ 290.8	0.5	1.0	▲ 1.1	▲ 4.6	1192.4	2.9	▲ 2.5	1.6	▲ 0.2

■ 前期比・寄与度 (%, %ポイント)

2015/ 7 ~ 9	0.2	0.3	0.3	0.3	0.1	0.1	▲ 0.2	0.1	0.1	▲ 0.0	▲ 0.0	▲ 0.1	0.4	▲ 0.5	—	—
10 ~ 12	▲ 0.4	▲ 0.5	▲ 0.5	▲ 0.4	▲ 0.0	0.1	▲ 0.1	0.0	0.1	▲ 0.1	0.0	0.1	▲ 0.1	0.2	—	—
2016/ 1 ~ 3	0.7	0.3	0.1	0.2	0.0	▲ 0.0	▲ 0.1	0.2	0.3	▲ 0.0	0.0	0.4	0.1	0.2	—	—
4 ~ 6	0.5	0.5	0.7	0.1	0.1	0.2	0.2	▲ 0.1	▲ 0.2	0.1	▲ 0.0	▲ 0.1	▲ 0.2	0.2	—	—
7 ~ 9	0.3	▲ 0.0	▲ 0.1	0.2	0.1	▲ 0.1	▲ 0.3	0.1	0.1	0.0	▲ 0.0	0.3	0.3	0.1	—	—
10 ~ 12	0.4	0.1	0.1	▲ 0.1	0.1	0.2	▲ 0.1	▲ 0.0	0.1	▲ 0.1	▲ 0.0	0.3	0.3	0.0	—	—

■ 前期比年率・寄与度 (%, %ポイント)

2015/ 7 ~ 9	0.8	1.2	1.0	1.2	0.2	0.4	▲ 0.8	0.2	0.4	▲ 0.1	▲ 0.0	▲ 0.4	1.5	▲ 1.9	—	—
10 ~ 12	▲ 1.8	▲ 2.1	▲ 2.1	▲ 1.7	▲ 0.2	0.2	▲ 0.5	0.0	0.6	▲ 0.6	0.0	0.3	▲ 0.5	0.7	—	—
2016/ 1 ~ 3	2.8	1.3	0.4	0.9	0.2	▲ 0.2	▲ 0.5	1.0	1.1	▲ 0.1	0.1	1.4	0.6	0.9	—	—
4 ~ 6	1.8	2.1	2.7	0.5	0.4	0.8	0.9	▲ 0.6	▲ 0.9	0.3	▲ 0.0	▲ 0.3	▲ 0.9	0.6	—	—
7 ~ 9	1.3	▲ 0.0	▲ 0.3	0.7	0.3	▲ 0.2	▲ 1.1	0.3	0.2	0.0	▲ 0.0	1.3	1.1	0.2	—	—
10 ~ 12	1.6	0.5	0.5	▲ 0.3	0.2	0.8	▲ 0.2	▲ 0.0	0.4	▲ 0.4	▲ 0.0	1.2	1.1	0.1	—	—

■ 前年同期比・寄与度 (%, %ポイント)

2015/ 7 ~ 9	2.1	1.8	1.5	0.7	0.2	0.2	0.5	0.3	0.3	▲ 0.0	▲ 0.0	0.3	0.6	▲ 0.2	—	—
10 ~ 12	1.1	1.1	0.9	▲ 0.0	0.1	0.1	0.7	0.2	0.4	▲ 0.3	▲ 0.0	0.0	▲ 0.1	0.1	—	—
2016/ 1 ~ 3	0.4	0.2	▲ 0.1	▲ 0.0	0.1	▲ 0.1	▲ 0.1	0.3	0.6	▲ 0.2	0.0	0.1	▲ 0.2	0.4	—	—
4 ~ 6	0.9	0.7	0.5	0.2	0.2	0.3	▲ 0.1	0.2	0.3	▲ 0.1	0.0	0.2	0.1	0.1	—	—
7 ~ 9	1.1	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	▲ 0.3	0.2	0.2	▲ 0.1	0.0	0.7	0.1	0.6	—	—
10 ~ 12	1.9	1.0	0.8	0.4	0.3	0.3	▲ 0.2	0.1	0.2	▲ 0.1	▲ 0.0	0.9	0.5	0.4	—	—

(注1) 民間在庫、公的在庫、外需の前期比、前年同期比はそれぞれ前期差、前年同期差。

(注2) 実績値は、基礎統計の追加、季節調整のかけ直しなどの要因により、内閣府公表の数値とは異なっている可能性もある。